

ゆうかり放送委員会提供
ゆうかりに乾杯
第 113 回放送の概要 (2016 年 9 月 24 日放送)

パーソナリティ

たろう

(佃 由晃)

なか

(中嶋邦弘)

かりん

(妹尾優香)

あな

(岸本幸恵)



ミキサー

門ちゃん

(門田成延)

会計

小山俊則

相談役

わたかん

(和田幹司)

1. ゲストコーナ (1) 森下雅子さん (明石市国際交流協会事務局長)、

久保美和さん (NPOまんまるあかし理事長)、内山通子さん (国際交流協会)

ゲスト 3 人の方の繋がり、森下さんが 3 年前に定年退職し、国際交流協会勤務になり、そこでベテランとして働いていたのが久保さん、二人は 4 日勤務で残りの勤務日を埋めるために、内山さんと一緒に 3 人で協会の業務をこなしていた。

明石市在住の外国人は約 3 千人弱で、最近では仕事の関係で来日する人が増えている。3 千人の内、日本語に困る人は多くはないが、仕事関係で来日する人には日本語に困る人がいる。在住者で多いのは中国人、韓国人。最近の来日者は、ベトナム、フィリピン、ペルー、ブラジルの人が多い。国際交流協会は、日本語が話せないと生活に困るので、日本語を教えてほしいという要望が多く、それに応えるため、また、国際理解を促進するために、多文化共生として大事な言葉を教える事業をしている。また外国人と日本人の交流にも力を入れている。子どもを連れた家族での来日者も多く、母親は家で孤立することがあるので、要望があればいち早く対応する事を心掛けている。

日本語を教える「いろはクラブ」は、週 1 回、2 時間ボランティアが教えている。ボランティアには交通費を支給し、受講者からは一回 300 円を徴収している。受講者の年齢は、生活に支障をきたさないようにという目的で教えていることから、子どもではなく女性を対象にしている。企業からは、土曜日の休日に教室を開いてほしいとの要望がある。教室は 1 カ月で 150 回を超える頻度で開催している。受講者数は 60 名程度。

国際交流協会は会員制度を採用し、会員対象の外国人との交流機会があり、また会員でない人も参加出来る国際理解セミナーも開催し、市民と外国人の交流を図っている。また市民向けの英語、中国語の語学講座を定例的に開催している。また、他の言語については 10 回シリーズの講座を開催している。今年は

イタリア語の予定です。またキッズ英語も始めている。国際理解セミナーでは、10月にモンゴルをとりあげ、モンゴルのお菓子を頂きながら、モンゴル出身の方にお話をしてもらおう予定です。年に3回実施しており、この講座は好評で抽選になっている。

協会で外国人の方に対応している中で、色んな課題が浮かび上がってきた。いろはクラブで小学生にも教えてほしいという要望があったが、交流協会は成人に日本語を教えるのがメインになっている。子どもに日本語を教えたとしても、子どもが学校の教科についていけない場合、学校になじめない問題が解決しない。日本語と教科の両方の子どもの問題に対応出来る場所がないか、ずっと考えていた。この問題は神戸市の場合も同じである。既に制度としてある多文化サポーターでは十分な対応ができない。いろはクラブのボランティア講師は、日本語養成講座を30時間受講した人をお願いしている。この講師は教科を教えることが出来ない。

2. ミュージック:『わすれないよ』 作詞:神戸市立多聞東中学校 41 回生、作曲:PASSION OGUURA

7月及び8月の挿入歌でお届けした『東北と神戸をつなぐ歌 充(みち)』のアルバムに含まれている曲の一つである「わすれないよ」をお届けします。この曲は、作詞:神戸市立多聞東中学校 41 回生、作曲は「充」と同じPASSION OGUURA(小椋先生は吹奏楽部の顧問)さんによる曲です。7、8月にお届けした「充」、及び今月お届けする「わすれないよ」は、「オフィス魂(KON)音楽事務所」のご厚意でお送りしています。



「音楽事務所オフィス魂(KON)」

「わすれないよ」

伝えたい この気持ち 故郷に住むあなたへ
「わすれないよ」この街で 生まれて 生きて あなたを
青い海 見える丘に 暖かな 風が吹く
僕らの 想いを 育てる 「神戸の森」
めげない! にげない! くじけない!
しあわせの種は きっと芽生え 希望の花が咲く
海に響け 僕らの歌 山に響け 僕らの歌
故郷に住む あなたへ 響け 僕らの歌

傷ついた あなたの心に 一粒の種を蒔こう
花が咲くまで 僕らが「仁恕(おもいやり)」という名の
水を蒔こう
辛いとき 手をつないで 笑顔の花を咲かそう
あなたが 笑えば 私も笑えるから
めげない! にげない! くじけない!
僕たちにできること それは 悲しみを一緒に背負うこと
空に響け 僕らの歌 森に響け 僕らの歌
故郷に住む あなたへ 響け 僕らの歌

伝えよう この気持ちを「わすれない」この想いを
天国で見守るあなたへ 響け 僕らの歌

3. ゲストコーナー（2）

「NPO 法人多文化センターまんまるあかし」は、今年6月1日に設立された。昨年4月から「多文化共生グループまんまるあかし」として、週1回子ども達に日本語や教科の支援をしてきた。乳幼児を連れてくる外国人の母親に、日本語教室を開いていた。国際協力協会にいた時に、外国人のお母さんから、未就学児を連れてくる場合は、日本語を勉強したいが子どもを預ける所がないので、勉強することが出来ないという相談があった。協会はフリースペースを借りたりしているので、未就学児を連れていくと自分の勉強ができなかったり、他の利用者に迷惑をかけたという相談があった。また外国人の母親で子どもは日本生まれ日本育ちの場合、母親のカタコトの日本語で育ち、家庭内が両親の母語での会話になると、子どもの日本語能力が同学年の子ども達に比べて低くなるので、勉強がついていけなくなるのではないかと相談があった。そのような事に対する支援が出来ないかと考え、まんまるあかしの活動がスタートした。最初始めた時、支援者は4人、学習に来る子ども達も4人～5人であった。未就学児を連れてくる母親の「おやくらす」と小学生から高校生を対象にした「こどもくらす」を始めた。当初は月曜日のみの活動であった。学校が終わってから来れる時間帯ということで、17時以降に「こどもくらす」を始めた。日本語の教科学習支援をし、また居場所作りも考えた結果、子どもたちが楽しく、学校で嫌な事があってもここに来ると楽しいと言って喜んでくれるようになった。日本で生まれ育った子どもは、日常会話はスムーズに出来る子どもが多いが、生活言語と学習言語は違う。教科書を読むと知らない言葉が出てくるので、外国出身のお母さん方は言葉の説明が出来ず、そのような場合に支援者が役立っている。



NPO 法人まんまるあかし

家庭で使われている言葉は、両親が外国人の場合は母語で会話しているが、国際結婚の場合は日本語が多い。しかし母親が外国の場合は、母親の影響が大きく、カタコトの日本語で育つので理解出来ない言葉ができてくる。子どもは母親と過ごす時間が長いので、親子でコミュニケーションをとるのが難しい状況もでてくる。子どもが大きくなると、子どもがしゃべる日本語も難しくなり、母親が更に理解できなくなる。

今、「おやくらす」に来ている人の国籍はインド、「こどもくらす」はブラジル、フィリピン、ネパール、イギリスルーツの子どもである。子どもたち同士の様子は、最近来日し日本語が全くしゃべれないイギリスの子どもに対し、何年か前に来日したブラジルの女の子が、日本語が全くわからない状態で学校に入った経験を踏まえ、うまくいく方法をイギリス人の子どもに伝えていた。いい交流が出来ていると思った。自分達が教室で孤立したり、寂しい思いをしたことを共有する気持ちの優しさがある。最初自己紹介の練習があり、その時に最後はよろしくお願ひしますと言えばよい、といったアドバイスをしていた。まんまるあかしは、子どもたちがほっとできる場所を提供していることを感じた。

子ども達はまんまるあかしに来てなじめる子もいるが、支援する大人たちが、子ども達を本当に受け入れてくれるのか、ためしている時期がある。その時は凄くわがままで言うことも聞かず、座らない。しかしここでは無理やり勉強をさせないようにしている。ほっと出来る場所であることがわかってもらえると、

子どもたちの表情が変わってきた。

国際交流協会では全く出来なかったことを、まんまるあかしが対応してくれるようになったので、協会としては紹介が出来る場所、受け皿が誕生したことがうれしい。まんまるあかしで支援しているボランティア、いろはクラブで支援しているボランティア、両者の目的は一つなのでお互いに情報を共有しながら困っている外国人の支援を行っていききたい。ボランティアの資格としては、いろはクラブは30時間の講習の受講が必要で、まんまるあかしは、「こどもくらす」では、日本語支援か教科学習支援のどちらで登録するのかということがある。日本語支援で活動する人は、講座を受講してもらう必要がある。教科学習支援は、日本生まれ日本育ちが対象になるが、日本語の能力、語彙力が足りないために問題が解けない場合があるので、支援者に対し、問題を解く前にまず日本語が理解出来ているのかといった観点から支援してもらう必要がある。

現在のボランティア登録者は20名程度、実際に支援者として活動している人は10名程度。その他に事務局のサポート、イベントの手伝いをする人もいる。まんまるあかしの運営費のうち日本語教科学習支援は、兵庫県国際交流協会、明石市国際交流協会から助成金をもらっている。10月から開催する多文化カルチャー講座の中で語学講座や中国茶の教室を開催するので、その時の受講料などを当てる。

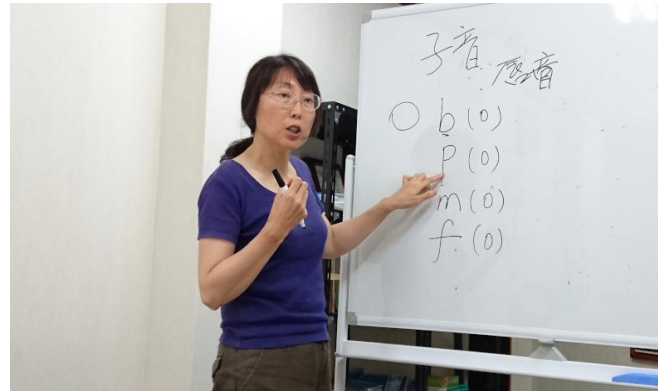
「まんまるあかし」の意味は、子ども達やお母さんの支援をしてわかったのは、そこだけ支援してそこだけ良くなってダメじゃないか思い、子どもたちやお母さんを取り巻く状況が良くなり、全てがまんまるになるように願い、名付けた。活動を続ける上で最も大事なことは、多くのボランティアに応募してもらうこと。特に必要なのは日本語教科学習支援の分野、及び外国人の母親の方から、居場所がない、交流する場所がない、友達が作れないという相談が最近多いので、外国人ママ会の運営を手伝ってほしい。今不定期で読み聞かせをしているが、定期的に行うための手助けがほしい。

(以下はエンディングコーナーでのトーク)

まんまるあかしは、「国籍や文化の違いを壁にせず共に生きる」をテーマに掲げ、支援者や外国ルーツの方だけでなく、地域の人とも壁を取り払って一緒に生きていきたいと思っている。地域の人にも世界に向けて国際理解を深めてもらうことになるが、興味関心を持って理解してほしいと思っている。そのための取り組みとしては、多文化カルチャー講座の開催、まんまるあかしに関わっている人限定になるがバーベキュー大会をして語学の先生、受講生、会員など支援頂いている方に参加してもらっている。また、国籍、年代のばらばらなパーティも開催している。色んな人と交流の場を持つ必要性は、国際交流協会も同じである。近くにいる外国人の方を、自然に手助けできる環境を作りたいと思う。



外国人ママのための読み聞かせイベント



多文化カルチャー講座（中国語会話）



多文化サロン～世界のお話会・中国茶～



多文化カルチャー講座（英会話）



みらいのきょうしつ～こどもくらす～



ママの勉強中、こども達は遊んで待ちます



トライやるウィーク生、学習者にインタビュー



みんなでおやつタイム

4. こぼれた話、こぼれなかった話：情報モラル教育で子供たちのネットトラブルから守ろう

- (1) 子供たちが、スマートフォンやSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、無料通信アプリなどインターネット上のトラブルに巻き込まれるケースや、過度にのめり込むいわゆる「ネット依存」が社会問題になっています。県の教育委員会はネットトラブルから子供たちを守るため、情報モラルの指導を徹底するとともに、家庭や県警察本部など関係機関と連携し、児童生徒の自主的・主体的な取組みの促進を図っています。
- (2) 昨年度から、ネットトラブル防止啓発動画「ネットトラブルから自分を守ろう！ 被害者にも加害者にもならないために」の活用を図って、啓発資料「保護者のためのネット利用ガイドブック」を配布し、フィルタリング設定の徹底や家庭でのルールづくりを促すなど様々な取組みを進めています。
- (3) 啓発動画は、「ネットトラブルから子供を守る協議会議」が開発しました。ネット利用上の注意点について説明しています。
- ①ケータイ・スマホは何のために使うのか、そのつきあい方、
 - ②一度書き込んだら拡散して消せない「デジタルタトゥー」や、反社会的行動をさらけ出すバカの「バカッター」問題、後の訴訟問題にもなります。
 - ③「リベンジポルノ」、
 - ④ネット上の出会い、
 - ⑤「ルールづくり」が大切、
- の5部構成で約20分。大学生たちの経験談や、ネット上に何気なくアップした写真等が拡散するなどの危険性、安易な投稿が就職など人生に影響することなどが解説されています。
- (4) 保護者向けネット利用ガイドブックは、まず保護者自身がスマホやネットのことを正しく理解し、情報モラルの意識を高め、家庭で話し合う機会を増やして欲しいと、製作されました。さらに、フィルタリングの設定は必須と強調。家庭におけるルールづくりのポイントとして、
- ①事故につながる「歩きスマホ」など「ながらスマホ」は論外で絶対やめる、
 - ②名前・住所・家族写真など個人情報を書き込まない、
 - ③利用する時間や場所を決める、例えば小学生は21時まで、中学生は22時までとか、
 - ④困ったことは直ぐ親に相談する、
- をあげています。このほか、保護者向けチェックリスト、ネットトラブル防止啓発動画のQRコードなどが掲載されています。
- (5) 県の教育委員会も、「子どもたちが自分自身でスマホやネット等の利用について考え、ルールづくりをすることが重要です。既に、学校や地域単位で取組みが進みつつあります。これを全県下に広げてゆきます」と話されていました。

5. 地域瓦版

- ①10月1日はコーヒーの日。今年は女性にコーヒープレイクを贈る日として、キャンペーンが行われます。クイズに答えてプレゼントを当てましょう。応募についての詳細はWEBで「女性にコーヒープレイク」で検索してください。
- ②10月16日（日）は、新長田鉄人広場で琉球祭が開催されます。
- ③10月21日（金）は今年最後の丸五アジアナイト屋台が開催されます。

ゆうかりに乾杯の過去の放送音声と文書化した放送概要は、下記URLで視聴いただけます。

<http://yukari.hyogo.jp/>